

(9) IFA業務等での蔵置場所チェック処理の追加 (第1回輸入食品業務SWG結果報告)



2022年8月18日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

区分	概要
1. 検討項目	IFA業務等での蔵置場所チェック処理の追加
2. 変更要望	入力した保管場所と貨物の蔵置場所が異なる場合、「食品等輸入届出事項登録（IFA）」業務時に注意喚起メッセージを出力して欲しい。
3. 次期仕様	<p>以下の業務にて、「届出種別」が「N：搬入後」でかつ貨物情報が存在する場合にのみ、入力した「保管場所コード」と貨物情報の蔵置場所の一致チェックを追加し、異なる場合に注意喚起メッセージを出力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「食品等輸入届出事項登録(IFA)業務 「食品等輸入届出変更事項登録 (IFA01)」業務 「食品等輸入届出(IFC)」業務 「食品等輸入届出変更(IFE)」業務

IFA業務入力値の保管場所コードと貨物情報に登録されている蔵置場所が異なる場合、ワーニング等の通知なく処理される。また、後続のIFC業務においてもワーニング等の通知なく処理される。

現行

IFA業務入力画面(抜粋)

共通部	繰返部						
種別*	N	届出番号	<input type="text"/>	共通番号	<input type="checkbox"/>	-	<input type="text"/>
輸入者	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>				
<hr/> <hr/>							
保管場所*	1ABCD	<input type="text"/>	搬入日*	<input type="text"/>			
B/L番号	NACS100		積載船(機)*	<input type="text"/>			
貨物の記号	<input type="text"/>						

■ 貨物情報内容

B/L番号 : NACS100

蔵置場所 : 1ABAA

IFA業務入力値の保管場所コードと貨物情報に登録されている蔵置場所が異なっても、ワーニング等の通知が無い。

「届出種別」が「N：搬入後」でかつ貨物情報が存在する場合にのみ、下記チェック処理を追加する。

「保管場所コード」と貨物情報に登録されている蔵置場所が異なる場合、注意喚起(ワーニング)メッセージを出力する。
対象業務：IFA業務、IFA01業務、IFC業務、IFE業務

次期

IFA業務入力画面(抜粋)

共通部 繰返部

種別* **N** 届出番号 共通番号 -

輸入者 -

保管場所* **1ABCD** 搬入日*

B/L番号 NACS100 積載船(機)*

貨物の記号

■ 貨物情報内容

B/L番号・NACS100

蔵置場所 : 1ABAA

事項登録(IFA/IFA01)時に異なる場合は、ワーニングを出力する
後続のIFC/IFE業務時でも異なる場合は、ワーニングを出力する

項番	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
1	<p>3.次期でのチェック処理内容</p> <p>「保管場所コード」と貨物情報に登録されている蔵置場所が異なる場合、エラーとする。</p> <p>対象業務：IFC業務、IFE業務</p>	<p>（意見）</p> <p>申請を却下して、再届出する場合がある。再届出する場合は蔵置場が変わっている場合もあるため、エラーで送信できなくなるのは困るので、ワーニングの方が良い。</p> <hr/> <p>（意見）</p> <p>NACCS不参加の蔵置場の場合、不一致となるためエラーでは困る。B/Lを仕分けする場合があります、届出済証は仕分け前のB/L番号で取得する場合がありますので、仕分けを考えた場合もワーニングとしていただいた方が良い。</p>	<p>ご意見を踏まえ以下の通り、検討させていただきます。</p> <p>「保管場所コード」と貨物情報に登録されている蔵置場所が異なる場合、注意喚起(ワーニング)メッセージを出力する。</p> <p>対象業務：IFC業務、IFE業務</p>